

管理運営状況等の評価シート(令和4年度分)

施設所管課 生涯学習課

1 指定管理者施設概要

施設名	名称	上三川町立図書館		
	所在地	上三川町大字上三川5040		
指定管理者	名称	株式会社 図書館流通センター		
	代表者名	代表取締役 谷一 文子		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年間

2 利用実績等

(1) 利用実績

① 利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	4,649	4,840	4,808	5,188	6,191	4,815	4,743	5,177	4,058	4,278	4,266	4,454	57,467
令和3年度(B)	3,816	4,150	4,035	4,713	5,383	0	3,940	4,127	3,859	3,907	4,623	4,251	46,804
(A)／(B)	1.22	1.17	1.19	1.10	1.15	0.00	1.20	1.25	1.05	1.09	0.92	1.05	1.23
増減要因等	令和3年度は1か月以上の臨時休館があったため、年度比率123%となりました。他に令和4年度は、再開した図書館事業も増えたことも増員の要因と考えています。												

② 利用件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	9,845	9,951	9,447	12,545	14,406	11,459	11,907	11,077	10,829	10,738	11,382	11,460	135,046
令和3年度(B)	10,403	9,725	9,861	11,440	13,968	0	11,121	9,390	9,234	9,649	10,784	8,931	114,506
(A)／(B)	0.95	1.02	0.96	1.10	1.03	0.00	1.07	1.18	1.17	1.11	1.06	1.28	1.18
増減要因等	コロナ禍での図書館利用に対しての変化を敏感にキャッチし、企画展示やカウンター事業に力を入れたことで、利用件数の増加に繋がったと考えています。												

③ 開館日数

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	26	26	26	29	29	27	24	26	24	25	24	27	313
令和3年度(B)	26	27	26	28	24	0	24	25	24	25	24	28	281
(A)／(B)	1.00	0.96	1.00	1.04	1.21	0.00	1.00	1.04	1.00	1.00	1.00	0.96	1.11
増減要因等	令和4年度は、コロナによる臨時休館がなく、通常通りの開館日数となりましたので増加しております。												

(2) 利用料金収入

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	150	110	180	370	260	180	140	270	200	370	180	400	2,810
令和3年度(B)	140	200	60	240	250	0	260	140	200	780	270	280	2,820
(A)／(B)	1.07	0.55	3.00	1.54	1.04	0.00	0.54	1.93	1.00	0.47	0.67	1.43	1.00
増減要因等	図書館資料の複写売上ですが、近年、インターネットやデジタル化が進み、紙ベースの資料をコピーされる方が減少傾向にあることが要因だと考えられます。												

(3) サービス改善の状況

コロナの影響も変化する中、企画展示やカウンター事業を中心に読書推進に力を入れ、利用件数増加、企画展示の貸出率アップに繋がりました。また、DX化に向けて、令和5年度公開を目指しORIGAMIのデジタルアーカイブ公開の準備を進めました。

3 管理運営状況

(※項目、評価内容は施設の状態等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設の目的に沿った管理運営	施設効用の最大限発揮	A	コロナ感染対策で、閲覧コーナーのベンチなど撤去してしました。R4年度では、対策緩和など変化に合わせて、複数人いっしょに座るベンチではなく、一人掛けソファタイプの椅子を購入し、設置しました。人との距離を気にせず滞在できる環境で利用向上を図りました。	A	利用者からの感謝の言葉などが多く寄せられており、施設の目的に沿った管理運営が出来ていると見られる。
	施設設備・備品の適切な管理・操作	A		A	
	利用者とのコミュニケーション	A		A	
	利用者への案内・指導	A		S	
	施設利用向上対策の実施	S		S	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	上三川町立図書館運営規則に則り、平等な利用確保に努めました。	A	利用許可や利用減免については、必ず担当課に連絡が来ているため平等な利用の確保が出来ていると見られる。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	自主事業の企画展示で、利用者のニーズを敏感に捉えることで、貸出率を89%と高い結果を出すことができました。また、利用者とのコミュニケーションとして、レファレンスサービス件数R3年度比113%と増加いたしました。利用者満足度調査として、通常の利用者アンケート以外に、町内の中学高校に依頼し、中高生対象にYAアンケートを実施し、結果をホームページに掲載いたしました。	S	企画展や、ブックリサイクルに対する良い意見が多く、企画展の内容を見ても面白そうなものが多いため、利用者サービス向上の取り組みが出来ていると見られる。
	利用者とのコミュニケーション	S		S	
	ホームページの作成、更新	A		A	
	利用申込受付の工夫	A		A	
	利用者満足度調査の実施	S		S	
自主事業の実施	事業計画書において計画した事業の実施	A	計画している事業は、計画通り実施しました。また、新規事業も展開しカウンター事業も参加者が集うイベントも多くの方にご参加いただき、利用促進に繋がりました。	A	コロナ禍で大変な中、自主事業を実施し、利用者からも好評を得ている。コロナ以前に戻れるよう期待している。
	自主事業実施の効果	S		S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	職員の配置では、従事者の司書資格保有率は常に仕様書に規定された比率より高く、司書補も含めると83%になっています。他に危機管理体制、安全対策として、感染対策アドバイザー1名、防火管理者2名、安全衛生推進者2名の体制としました。	A	コロナの影響でwebによる研修が多くなっているが、多くの研修に参加している。また、職員配置や危機管理体制等もきちんとしてきている。事業報告書も遅れることなく丁寧に作成されている。
	仕様書に規定された職員の配置	S		S	
	利用料金の徴収	A		A	
	危機管理体制の構築	A		A	
	安全対策の実施	A		A	
	事業報告書等の提出	A		S	
	職員の研修	S		S	
収支状況	収入及び支出額	A	様々な項目で経費削減に努めましたが、電気代高騰が課題となりました。	A	電気料高騰の影響が大きかったが、企業努力によりわずかだが黒字になっており、収支状況は良好である。
	管理経費の縮減策実施	A		A	

	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
総合評価	〔努力した点・具体的な成果〕 閲覧コーナーの椅子を一人掛けソファタイプに替えたと、有効にご利用いただけています。リサイクルフェアでは、資料の出し方を工夫し、早い時期に全ての資料が配布できました。イベントでは、会場にイベントのテーマに関連した資料を展示し、図書館資料の利用促進に繋がりました。企画展示でもテーマや選書に力を入れ、年間貸出率はかなり高い89%といった結果になり、皆様に様々な資料をご利用いただくことができました。視覚にご不便を感じられている方には、ライト付き拡大鏡、リーディングルーペの貸出や大活字本を多く購入しご利用いただきました。		〔評価すべき点〕 新型コロナウイルスや電気代をはじめとした物価高騰などの難題を、様々な創意工夫で乗り越えている。また、利用者に寄り添い、様々な意見を出来るだけ取り入れられるよう検討し、実行できている。企画展示では、利用者が新たなジャンルの本を手にするきっかけ作りに努めており、貸出率が非常に高い。毎月なので、アイデア出しに苦労していると思うが、今後も継続していただきたい。	
	〔改善すべき点〕 南館が学童保育になることで、図書館イベントの会場が2F視聴覚室のみになってしまうことを考慮し、イベントの構成を改善する必要があります。また、コロナの影響で、上三川高校はじめ、町内施設との連携事業が減っていることから、見直しをしながら積極的に連携していくよう働きかけていきます。		〔改善指導すべき点〕 施設の老朽化による様々な課題が出てきていると思うので、利用者に影響が出る前に担当課に相談していただき、利用者が快適に利用していただけるようご協力をお願いします。	